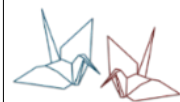


未来に向かって伸びる鶴嶺の子

鶴小だより 夏休み号

茅ヶ崎市立鶴嶺小学校
校長 日高 大司郎
令和6年7月19日発行



子どもの笑顔・先生の笑顔

先日、岡山県から、4人の先生方が本校を視察にみえました。県内各校の研究推進担当者に向けて、授業改善のための校内研究のあり方やその方法について研修等を企画運営する立場の方々でした。その先生方をご案内しながら、いくつかの学級を回ったのですが、気づいたことがありました。

はじめに入った教室では、音楽の授業でした。子どもたちそれぞれに担当の楽器が決まっています。グループで合わせてリズム打ちをする学習でした。それぞれの担当楽器で打つリズムが違います。なかなか難しそうな活動でしたが、子どもたちは本当に楽しそうに取り組んでいます。そして、先生も笑顔で、「グループ発表できそう?!最初のグループどうぞ。」なんて話しています。

次の学級では、タブレットを使って、子どもたち1人1人が書いた文章の構成を、グループみんなで見合っています。そして、「ここは、こっちにもっていった方がいいと思う。それは・・・。」等話し合っているのです。理由もつけて話しているのがいいなと思いました。互いに自分の考えを伝え合っている子どもたちは、一生懸命です。そして、先生は、それぞれのグループをまわって支援しながら、やっぱりなんだかうれしそうにしています。

その次の学級では、社会科で学んだ茅ヶ崎市内の様子の中で、紹介したいと思う場所や施設を決めて、パンフレットにする活動をしていました。自分が選んだ場所が、地図上でどこに位置するかを探したり、確認したりする活動でした。飽きてしまうかなと思っていましたが、なんのなんの、自分が紹介したいとの願いがあるので、友だちとも情報をやりとりしながら、楽しそうに活動していました。この学級の先生が、授業の終わりに僕のところに来て、「できたパンフレットを観光案内所に置いてもらえないか、交渉してみようと思っています。」と教えてくれました。その時の先生の顔は、本当にうれしそうでした。

岡山からいらした先生方がはじめにおっしゃっていたのは、「子どもたちが笑顔で楽しそうに授業していたのが印象的でした。そしてどの学級でも子どもと同じように、いやそれ以上に楽しそうに授業されている先生方の姿が、とてもいいなあと感じました。」との事でした。そして、掲示物や国語の授業参観から、「貴校が国語を研究するにあたって大切にしている事がきちんと各学年、各学級で繋がっていますね。」とも言っていました。

先生方ががんばってきた事を認めていただいたようで、誇らしい気持ちをもちました。そして、一緒に回りながら自分も目の当たりにした「子どもの笑顔」と「先生の笑顔」、その両方が見られたことが何よりすてきだなと改めて気づいたのです。

僕ら教員は、子どもが主体的に学べるようにしかけていきます。それを受けて、子どもが自分の学びを拓き、自ら学び始めると本当にいい顔をするものです。そういう学びができた時、僕ら教員もワクワクして、自然と笑顔になります。このところ、あまり教室を回れていなかったせいか、参観した学級の子どもたちの笑顔とともに先生の笑顔に触れられて、「先生たち、がんばっているなあ。」と今更ながら感じ、うれしくなりました。

手前みその話はこれくらいにしますね。いよいよ夏休みがやってきます。お子さんと楽しんで過ごしていただければと思っています。今日の話は、「子どもの笑顔・先生の笑顔」でしたが、夏休みは、「親子の笑顔」です。同じものをみたり、同じ事をやったりする中で、一緒に笑ったり一緒に喜んだり、一緒に感動する経験をたくさんしてほしいと思います。基本的な自己肯定感が上がると言われています。「お父さんお母さんも、自分と同じように感じている。自分も一緒だ。これでいいんだ。」という感覚が大切なのだそうです。

お金を使って、「楽しませてもらう」施設等に出かけるよりも(だめということではありませんが)、自分たちで「楽しむ」という能動的な体験がよいと思います。何でもよいのです。虫取りだって、工作だって、お料理だって……。里山公園や市民の森等を散策して、一緒に自然を感じるのもいいですね。きっとかけがえのない時間・体験となると思います。一緒に楽しめたなら、きっと子どもは笑顔になりますし、親御さんもやっぱり笑顔になるはずですよ。ほら、教室と同じでしょ。違うのは、単純に同じものを見て、一緒に楽しめばよいということです。難しいことではありません。

最後に、交通安全についてをお願いをします。皆さんは、交通ルールを守っていますか。特に、お子さんと一緒の時、安易にルールを破る行動をしませんか。それは、「このやり方がいいよ。」と教えることです。そんなことをしていたら、事故のリスクは確実に高くなります。子どもは、いつもやっているようにしますから。子どもと一緒に、いつでも必ず、安全な正しい交通ルールを守りましょう。皆さんの賢い選択で、子どもたちを守ることが出来ます。それでは、よい夏休みを!!